



かがやき

令和6年10月28日
担当：(教頭)

前期が終わり、後期が始まりました

10月から後期が始まりました。1日の「前期終業式・後期始業式」では校長先生から以下のような話があり、全校の子どもたちが真剣に聞き入っていました。限りある時間を大切に、実りある後期にしてほしいと思います。

【校長先生のお話（要約）】

突然ですがみなさん、スポーツを①「サッカー・バスケットボール・ラグビー」②「バドミントン・バレーボール・野球」と仲間分けしたとき、①と②はどんな違いで分けたかわかりますか？いろんな仲間分けの仕方がありますが、①は『試合時間が決まっている』②が『試合時間が決まっていない』スポーツです。

では、みなさんに聞きます。みなさんの「1年間の学校生活」は①と②どちらの仲間でしょう？そう、①「時間が決まっている」方の仲間、つまり「時間が限られている」ということです。①のスポーツでは、前半が終わったとき「ハーフタイム」という「前半を振り返り、後半の作戦を考える時間」を取ります。みなさんにとって今日はそういう日なのです。

ここで、またちょっと考えてみてください。ここに1枚の紙があります。みなさんならどんな使い方をしますか？

(絵を描く・切る・折り紙にする・紙吹雪などいろいろな意見が出る)

では、この紙をこの机に置きます。見えますか？

(机に置いてあるが、子どもたちからはほとんど見えない)

でもこれならどうでしょう？

(98枚の紙を出す。厚みがあるので子どもたちからもよく見える)

この98枚は、皆さんが前期に過ごした日々と同じ数です。ではこれなら？

(104枚を出す)

これは、みなさんがこれから後期に過ごす日々と同じ数です。「たった1枚の紙・たった1日」は、遠くからではよく見えないかもしれません。でも重なるとはっきり見えてきます。先ほど、みなさんは紙の使い方をいろいろ出してくれました。

「1日の使い方」も同じことです。みなさんは、これからの104日間をどう使いますか？考えてみて下さい。



10月2日に小谷っこタイムがありました

10月2日には「小谷っこタイム」がありました。地域の皆様のお陰で様々な体験をさせていただき、子どもたちが小谷の良さを実感する充実した1日になりました。



【施設探検隊】

施設探検隊では、「共働学舎」で牛やヤギに餌をやる体験をしました。かわいい動物たちに接し、嬉しそうな子どもたちでした。足踏み脱穀機を使っての脱穀体験では、昔の道具に興味津々でした。一番盛り上がったのは、機織り体験でした。布を織り込んでいくのをとても楽しんでいました。



【郷土食探検隊】

郷土食探検隊では、小谷村役場でおやきを作りました。自分たちでキャベツ・にんじん・油揚げを切ったり、強力粉で包んだりし、とてもおいしいおやきができました。皮が破れてしまっても気にせず、みんなで会食するのも楽しかったようです。



【自然探検隊】

自然探検隊は、「コルチナ・アドベンチャーランド」へ行き、アスレチックを行いました。ハーネスやカラビナをつけて、ジップライナーに乗ったり、揺れる丸太の上を歩いたり、地上3メートルの所を歩いたりし、とても楽しかったようです。全コース制覇する子もいました。



【文化探検隊】

文化探検隊は、「おたりつぐら」へ行き、「ぼろ織」を作りました。子どもたちは4台の機織り機を順番に使ってコースターを2枚作りました。好きな布を選んで手でトントンしながら織っていくのが楽しかったようです。



【歴史探検隊】

歴史探検隊では、「鎌池」に行きました。晴れていてとても良い景色の中、2時間ほど歩きました。ガイドの方から鎌池の歴史についても教えていただき、周囲が隆起してできたことや昔から観光地だったことを学びました。整備されているブナの小道も歩き、「もっと多くの観光客に来てほしい」と思ったようです。



【スポーツ探検隊】

スポーツ探検隊は、体育館で小谷村スポーツ協会の方から「ポッチャ」を教えていただきました。子どもたちは低学年も高学年もとても上手で、みんなでアドバイスをし合いながら楽しんでいました。スポーツを通し、異学年が一層仲良くなることができました。

塩の道遠足に行ってきました（1～4年生）

10月11日には、1～4年生の塩の道がありました。とてもよいお天気の下、大自然の中を安全に気持ち良く歩くことができました。これも大勢の保護者の皆様のお陰です。本当にありがとうございました。



3・4年生は、北小谷駅を出発し、大日如来像、堅田城跡、中谷大宮諏訪神社を通過してやまつばきまで歩きました。ロープを伝って登るような急な坂道や足場の悪い水たまりなどもありましたが、子どもたちは「ここ気を付けて！」などと声をかけ合いながら元気に歩いていました。ガイドの方のお話によると、舗装した道ではなく山道として残っている小谷村の塩の道は、とても珍しいのだそうです。連学年の班で声を掛け合いながら、長い道のりを頑張って歩くことができました。

1,2年生は下里瀬をスタートし、池原諏訪神社・石坂基幹センター・幸田文文学碑・浦川橋を通り、学校へ戻ってきました。ガイドの方が名所について詳しく解説してくださいました。幸田文文学碑では、「昔、ここで山が崩れたんだよ。」と教えていただき、子どもたちは「あそこだよ！」などと言いながら山を見ていました。楽しく歩きながら小谷の歴史について学ぶことができました。

